

INON

Z-220

■イノン Z-220 ¥64,000(税抜)



シャッター連動 フォーカスライト内蔵 多機能水中TTL オートストロボ

■ Z-220 Z-220S 主な仕様

形式	イノン Z-220
調光方式	TTL調光/マニュアル調光
ガイドナンバー	22(FULL) 19(-1/2) 16(-1) 13(-1 1/2) 11(-2) 9.5(-2 1/2) 8.0(-3) 6.7(-3 1/2) 5.6(-4) 4.5(-4 1/2) 4.0(-5)
照射角度	100° × 100° 円形配光(陸上) 拡散板/減光板使用時は110°(陸上)
対応バッテリー	単三形アルカリ乾電池 4本 単三形ニッカド電池 4本 単三形ニッケル水素電池 4本 単三形リチウム電池(1.5V) 4本
リサイクルタイム(※)	単三形アルカリ乾電池: 最短約2秒 単三形ニッカド電池: 最短約1.5秒 単三形ニッケル水素電池: 最短約1.5秒 単三形リチウム電池: 最短約2.5秒
発光可能回数(※)	単三形アルカリ乾電池: 約200回 単三形ニッカド電池: 約110回 単三形ニッケル水素電池: 約200回 単三形リチウム電池: 約350回
耐水深	100m
大きさ(突起部を含む)	直径約100mm、長さ約100mm、高さ約137mm
陸上重量	600g(電池を含まず)
水中重量	約85g(Ni-Cd電池4本を含む)
フォーカスライト(※※※)	シャッター連動式
ターゲットレーザ(※※※)	チャージLED連動式/シャッター連動式
スレープ機能	ワイアレスTTLスレープ [別売方向窓キャップII(¥1,800)使用時]
付属品(※※)	拡散板(-0.5)、減光板(-3)、磁石砂、磁石、六角レンチ、予備Oリング 2種、グリス、各1

※ 弊社内テストによる参考データ。実際の使用状況や電池により、結果が異なる場合があります。
 ライト/レーザ共にOFFの状態ですら30秒に1回FULL発光させて測定(25℃)
 ニッカド電池1,000mAh/ニッケル水素電池1,600mAhを使用
 ストロボアーム/接続オプションは別売です。詳細は裏面のチャート図をご確認下さい。
 ※※ フォーカスライト及びターゲットレーザは、Z-220のみの機能です。
 ※※※ Z-220Sでは、オプション改造となります。

コンパクト&群を抜く基本性能

ガイドナンバー: 22(陸上値、ISO100・m)、照射角: 円形配光の100° [付属の拡散板(-0.5)/減光板(-3)使用時は110°]。

この大光量/広照射角を単三乾電池4本のみで実現しただけでなく、FULL発光時のリサイクルタイムがなんと1.5秒[Ni-Cd1,000mA使用時、※]、ワンクラス上のハイスpekを実現しました。

数々の先進機能を、耐水深100mを誇る、直径100mm/奥行き100mm/高さ137mm(突起部を含む)のコンパクトボディに凝縮。陸上での持ち運びだけでなく、水中での取りまわしやすさを実感できます。奥行きが極端に短いボディは、マクロ撮影時のポート周りのライティング、そしてワイド撮影時の長いアームでのバックライティングで威力を発揮します。

11段階マニュアル発光①

プロセスに必須アイテムのマニュアル発光は、1/2EV刻みで11段階調節可能[ガイドナンバー22~4.0、減光板(-3)使用時は8~1.4、何れも陸上値、ISO100・m]。微妙なライティングがダイヤルを回すだけで行えます。

また、プレ発光方式のデジタルカメラにも、-2以下のマニュアルスレープ発光での使用が可能①⑤。

チャージLEDに連動するターゲットレーザ内蔵※※※

Z-220には世界初のチャージOK表示LEDに連動した赤色レーザを内蔵。ストロボのチャージが完了すると自動的に点灯し、ストロボの光軸方向に被写体を照射します②。

撮影者はファインダー越しにレーザを追うだけで、ストロボのチャージ状態を、そして、ストロボの光軸までもが合わせることが出来るのです。従来のカメラレンズに向き合っただけのストロボ角度合わせはもう必要ないのです。

シャッターと連動して消灯し、写真への写りこみが無いのは勿論③、カメラの操作をしなければ約8秒後に自動的に消灯する省電力設計になっており、対応するカメラシステム④では、ハウジング側のワンタッチ操作で強制的に消すことも可能です。

シャッターに連動して点灯するフォーカスライト※※※

Z-22で好評なシャッターに連動して点灯するフォーカスライトを内蔵。ナイトダイビングだけでなく岩陰に潜む被写体もシャッターを半押しにするだけで照らし②、AF/MF操作を強力にサポートします。

もちろん、シャッターに連動して消灯するのでスローシャッター時、写りこみがなく②、約8秒後に自動的に消灯する省電力設計になっています。

また、ライトスイッチがボディにあるイノンシリーズ③では、瞬時に強制的に消すことが可能です。

接続発光方法は3WAY

従来のニコノス5ピンタイプの電気コネクターに対応しているのはもちろん、イノン・光コネクターを装備しており、対応するカメラハウジング④との接続には、光ファイバーを用いた、水漏れが皆無/水中でのストロボ組替え可能な、イノン・光接続システムを利用する事が出来ます。

その上、光コネクター部は、光ファイバーを外すと、ワイアレスTTLスレープ増灯を行うセンサーとして働く為、別売の方向窓キャップII(価格/発売日未定)を取り付けるだけで、従来より精度の高いワイアレスTTLスレープを行なう事が可能です⑤⑥。

高精度の発光を可能とする電圧安定回路を採用

ニッカド電池はアルカリ電池に比べ電圧が低く、通常の回路では、ニッカド電池使用時はアルカリ乾電池使用時よりガイドナンバーが約0.3絞り低くなってしまいます。Z-220は、この電池電圧に関係なく光量・ガイドナンバーを確保する為の電圧安定回路を組み入れています。ガイドナンバーから露出を計算し撮影する銀塩カメラのマニュアル撮影時でも、安定した撮影結果を得ることが出来る訳です。

また、電圧安定回路は、ストロボの充電完了後に一定電圧になると、電池からの電流を断続的にストップして省電力化を行なう、優れた機能をも持ち合わせています。

大容量ニッケル水素充電電池とリチウム電池で使用可能⑦

アルカリ電池とニッカド電池に加え、現在、充電式電池として最も一般的な、大容量のニッケル水素電池、更に、一次電池として優れた特性をもつリチウム電池(単三型1.5V)にも対応。どちらも容量が大きいので、一回の電池交換での撮影枚数が増え、水中ストロボでは細心の注意を必要とする電池交換の回数を減らす事が可能です。

① プレ発光を行うデジタルカメラ用のハウジングでは、-2~-5[ガイドナンバー11~4、減光板(-3)使用時は4~1.4、何れも陸上値、ISO100・m]の7段階のみ同調可能。近日発売予定のオプション、「フォーカスライトコントローラー」のプレ発光キャンセル機能を使用する事で、11段階全てで同調可能となります。詳細は裏面を参照して下さい。

② シャッター連動信号に対応していない、一般のデジタルカメラハウジングにおいては、Z-220単体にて、この機能を使用する事は出来ません。近日発売予定のオプション、「フォーカスライトコントローラー」が必要となります。詳細は裏面を参照して下さい。

③ スチールカメラハウジングの一部で、シャッターに連動しません。

④ イノンX1-LZ/NZ、X1-Z(ターゲットライト取り付け改造品以外のX1-ZではTTLストロボ機能のみの対応となります)。

⑤ デジタルカメラハウジングにおいては、スレープ接続での接続のみの対応となります。また、TTL調光を行う事は出来ません。マニュアル調光のみの対応となります。

⑥ 精度の原理は弊社カタログ光接続システムのページ『方向窓キャップ』の項を参照して下さい。

⑦ リチウム電池をご使用時には、連続してFULL発光を50回以上行わないで下さい。電池が発熱して著しく性能が劣化する可能性があります。詳細に関しましては、お問い合わせ下さい。

群を抜く基本性能をそのままに 高性能・水中TTLオートストロボ

INON

Z-220S

■イノン Z-220S ¥53,000(税抜)

ガイドナンバー 22 の大光量、取り付け角度を気にせずライティングポジションを設定できる円形配光 100° の照射角、水中ストロボ撮影での連写を可能にしたクラス最速のリサイクルタイム、従来の同クラスの約半分の大きさを実現し耐圧水深 100 m を達成した頑丈なコンパクトボディ、大容量のニッケル水素充電電池に対応した電源回路、そしてプロユースにも応えられる 1/2 刻み 11 段マニュアル発光。TTL オートストロボ Z-220 S は、この高性能で好評な水中 TTL オートストロボ Z-220 の基本性能をそのまま引継ぎ登場しました。

シャッターに連動して点灯するフォーカスライト・レーザーシステムは、コストを抑える為、搭載されていませんが、オプション改造 (※2) としてご購入後、必要に応じてパワーアップできます。

※1 主な性能・仕様は、フォーカスライトとターゲットライトを除く Z-220 の仕様と同じです。
※2 オプション改造費及び対応開始日は未定です。



ニコノス互換の電気信号を 光に変える

ニコノス互換の電気信号を光信号に変え、Z-220/Z-220S、及び対応する「TTL 調光センサー」を取り付けた各社 TTL ストロボを、光ケーブルを用いた光接続にて使用可能とするオプションです。

「ニコノス」、「ネクスス」といった従来の水中カメラシステムでも、電気コネクタ部浸水の心配をする事なく、更に水中でのストロボ交換さえも可能となるのです。

発光開始信号や TTL 信号はもちろん、フォーカスライトの制御信号も変換しているため、Z-220/Z-220S (※1) 内蔵の、フォーカスライト / ターゲットレーザーをシャッターに連動して動作させる事が出来ます。シャッター半押しで点灯、シャッターを切った瞬間に自動消灯といったシステムが、光接続でも可能となります。

作動条件は、ニコノス 5 ピンタイプコネクタと物理的 / 電氣的に互換を持つカメラ、及びハウジング (※2) です。カメラの種類 (※3)、及びコネクタの向きに合わせて、各システム対応の「光コンバーター-TTL」を発売予定。

※1 「Z-22」を接続する場合には、別途「TTL 調光センサー-Z」(¥16,200/税抜) が必要となります。
※2 ハウジングはカメラからの結線が 5 本全て行われている必要があります。
※3 X1 とニコノス製カメラシステムとの信号が僅かに異なる為、それぞれ別製品での対応となります。

光コンバーター-TTL

各カメラシステム対応版共に、価格/発売日未定



デジカメシステムでも フォーカスライトとレーザーが使える プレ発光キャンセル回路内蔵

Z-220 の電気コネクタ部に取り付ける事で、スレーブストロボの Z-220 でも、内蔵のフォーカスライトとターゲットレーザーを手動で点灯可能とするオプションパーツです。

Z-220 のメインダイヤルにて、フォーカスライトとターゲットレーザーの ON/OFF が可能となりますので、暗い水中でのデジタルカメラのフォーカス合わせに役立ちます。点灯しているフォーカスライトとターゲットレーザーは、シャッターを切った時に自動的に消灯し、スローシャッター時の写り込みがありません (PAT.P)。

更に、デジタルカメラ内蔵ストロボのプレ発光動作に対応した、「プレ発光キャンセル回路」も内蔵。1 回プレ発光を行なうデジタルカメラでも、Z-220 のマニュアル発光が FULL 発光から全て使用可能となります。

※ プレ発光を 1 回キャンセルします。2 回以上プレ発光を行なう機種では使用出来ません。
※ フォーカスライトコントローラーを使用しても、デジタルカメラで Z-220 を使う場合、マニュアル調光のみの対応となります。Z-220 の TTL オート機能は使えません。

フォーカスライト コントローラー

価格/発売日未定



Z-220 / Z-220s SYSTEM CHART

